

第99回日本学生選手権水泳競技大会OWS競技 二次要項

公益財団法人日本水泳連盟
オープンウォータースイミング委員会

■申込状況

参加団体数 29団体
参加選手 110名 (男子 78名・女子 32名)

■競技について

・本競技会は、「(公財)日本水泳連盟オープンウォータースイミング競技規則」(以下「OWS競技規則」)に則り実施する(一部、ローカルルールを適用する)。

https://swim.or.jp/assets/files/pdf/pages/about/rule/r_ows_20230401.pdf

■スケジュール概要

・8月25日(金)

17:00 監督者会議(オンライン Zoom)

・8月26日(土)

8:30 大会可否判断。連盟HP「News お知らせ」欄に掲載する。
10:30~12:30 10km 選手・給水コーチ 受付
11:00~ 公式練習 開始
12:00 公式練習 終了
13:00 開会式
13:10 10km 選手招集
13:30 10km 男子スタート
13:32 10km 女子スタート 栈橋許可登録コーチ入場開始
16:00 10km 表彰
16:30~ 公式練習 開始
17:30 公式練習 終了

・8月27日(日)

7:00 大会可否判断。7時以降に連盟HP「News お知らせ」欄に掲載する。
8:00~9:00 5km選手 受付
8:00 アップ開始
9:00 アップ終了
9:40 5km 選手招集
10:00 5km 男子スタート
10:02 5km 女子スタート 栈橋入場開始
11:30 5km 表彰
リレーオーダー用紙提出締切

12:30~13:30	4×1.5kmリレー	選手	受付
12:30	アップ開始		
13:00	アップ終了		
13:40	4×1.5kmリレー	選手	招集
14:00	4×1.5kmリレー	男子	スタート
14:02	4×1.5kmリレー	女子	スタート
15:45	4×1.5km	表彰	
16:00	閉会式・団体表彰		

■監督者会議 (Zoom オンライン会議)

日時：8月25日(金) 17時00分開始 (16:45より入室可能)

- ・本会議はオンライン会議 (Zoom) にて実施する。参加 URL、ミーティング ID、パスコードは、後日 HP アップ予定の監督者会議資料に掲載する。(8月24日掲載予定)
 - ・監督者会議資料は、各自で HP からダウンロードし、事前に熟読しておくこと。(当日配布は行わない)
- ※なお、オンライン会議アプリ「Zoom」を使用予定の為、予め Zoom をインストールしておくこと。

■チーム受付

日時：8月26日(土) 10時30分~16時30分, 27日(日) 8時00分~13時30分

場所：北条海岸 会場内 総合受付テント

配布物：チームバッグ (ADカード、確認資料等)

選手用バッグ (ADカード等)

■リレーオーダーの提出

日時：8月27日(日) 11時30分締切

場所：北条海岸 会場内 総合受付テント

- ・リレーオーダーは上記の時間までに提出すること。
- ・HPに掲載するリレーオーダー用紙を印刷し、必要事項を記入の上、提出すること。

■ADカードの写真について

本大会は、写真付きADカードを使用します。※管理者は写真不要

■入場ゲート

- ・必ず入場ゲートを通して会場へ入退場すること。
- ・ADカードに顔写真がない場合は、入場を断る場合がある。(管理者ADをのぞく)

■大会当日 選手(給水コーチ)受付

場所：北条海岸 会場内 受付テント

日時：8月26日(土)

10時30分~12時30分 10km 男子・女子選手、給水コーチ 受付

8月27日(日)

8時00分~9時00分 5km 男子・女子選手 受付

12時30分~13時30分 4×1.5kmリレー 男子・女子選手 受付

方法：

- ・選手受付の際は、本人確認（ADカード発行）、「OWS健康チェックシート」を提出、競技で着用する水着・スイムキャップ、ゴーグルのチェック、手足の爪チェック、装飾品（ジュエリー類）チェックをおこなう。

***注意：「OWS健康チェックシート」はHPからダウンロードすること。**

- ・トランスポンダーを1選手につき2つ配布する。選手招集までに両腕に着用すること。
ビニールテープを使用する場合は各自で用意のこと。
- ・水着チェックの際は、着用でも持参でも構わない。World Aquaticsが承認した水着を提示すること。
- ・手足の爪の手入れをし、装飾品（ジュエリー類）を取り外してから選手受付をおこなうこと。

■給水コーチ（10km）・帯同コーチ（5km・4×1.5kmリレー）の棧橋入場許可登録及び給水竿検査

日時：8月26日（土）10時30分～12時30分 → 北条海岸 会場内 受付テント

8月27日（日） 8時00分～ 9時00分 → 北条海岸 会場内 受付テント

12時30分～13時30分 → 北条海岸 会場内 受付テント

- ・給水竿が不合格となり、再検査を命ずる場合もある為、なるべく早めの竿検査を推奨する。
- ・棧橋入場許可登録（ADカードへ棧橋入場許可のスタンプを押印）
- ・給水竿検査（合格竿には検査済証シールを貼付）
- ・給水竿（フィーディングポール）は5m以内とし、その先端にはロープやワイヤーが垂れさがってはいならず、30cm×20cm以内のチーム旗のみ装着することが許される。（OWS5.16）
- ・給水竿のチーム旗は布製とし、ラミネートされた掲示類は認めない。
- ・5km競技、4×1.5kmリレーで給水はできないが、棧橋入場許可登録をした帯同コーチは棧橋からのコーチングができる。

■給水エリア入場方法および注意

- ・給水棧橋は、スタート前には入場できない。
- ・ADカードに棧橋許可シールが貼られた登録済みコーチ以外の関係者は、棧橋に入場できない。
- ・競技スタート前、コーチは棧橋入口にて男女別の選手ナンバー順に列を作って待機する。
- ・女子競技スタート後、登録済みコーチのみが係の指示で棧橋入場可能となる。
- ・入場は、10kmは男女4列、5km・4×1.5kmリレーは男女2列同時の選手ナンバー順とする。各種目別に男女で列を作り、各列の先頭は、係に呼ばれたら指示に従って同時に入場する。
- ・給水およびコーチングは、指定された給水エリアで行う。
- ・給水竿は、今大会の検査済証シールを貼付したものを使用すること。
- ・給水エリアでコーチに違反行為があった場合、当該コーチではなく、競技者本人にイエローカード、または、レッドカードの処分が課せられる。（OWS5.3.1及び5.3.2）
- ・給水エリア内での撮影行為は禁止とする。
- ・給水エリアから物（食べ物を含む）を投げてはならない。
- ・選手は給水竿か手渡して物を受け取らなければならない。（但し、選手と給水コーチは同時に物に触れてはいけない）（OWS5.15）
- ・コーチが他の選手の妨害をするなどの行為があった場合は競技者本人へイエローカードが出される。
- ・指定エリア内であればどこで給水を行っても良いが、同じ場所に居座る（占有する）ことを禁止する。
- ・担当選手の給水・コーチングを終えたら一旦後列に下がり、他のコーチと譲り合って利用すること。
- ・給水竿は前列に置いたままで良いが、保冷バック等は給水エリア後方に置くこと。
- ・海上に浮遊するコップ等のゴミは、タモ網等により責任を持って回収し、各自で処分する。
- ・給水エリア最後方は通行できるように空けておくこと。
- ・競技終了後は、飲み物容器やゴミ等は必ず持ち帰ること。
- ・ホイッスル、メガホン等の拡声機材は使えない。

■公式練習・ウォームアップ

・公式練習

日 時： 8月26日（土） 11時00分～12時00分 全コースを開放（予定）
16時30分～17時30分 当日指定エリア

・ウォームアップ

日 時： 8月27日（日） 8時00分～ 9時00分 当日指定エリア
12時30分～13時00分 当日指定エリア

- ・公式練習・ウォームアップの前にチーム受付を済ませ、必ずADカード持参のうえ「入退水」のチェックを受けること。
- ・公式練習で競技コース全体を開放している場合、コースを一周する時はライフセーバーが囲む中での移動とする。（但し、コース準備の進捗状況、気象状況等によっては、開放するエリアを限定、制限することがある）
- ・コース周回泳は時計回りとし、逆泳は禁止とする。
なお、ラップゲート（給水栈橋先端付近）、フィニッシュエリア、給水エリアは設営中につき、設営状況によっては使用できない場合もある。

■選手招集

- ・選手招集の際は、ADカード、前日配布の選手バッグ（選手個人袋）を持参すること。
- ・トランスポンダーを両腕に装着してくること。
- ・審判長からの最終ブリーフィング後、選手コールが始まったら、競技役員の指示に従いビーチ待機位置へ移動する。
- ・ビーチ入口「選手ADボックス」にADカードを入れてビーチ待機位置へ移動する。
- ・サンダルやセーム等の荷物をビーチ待機位置まで持っていく者は、選手個人袋もビーチまで持参する。
- ・選手個人袋はフィニッシュ後に招集テントの自分の椅子にて回収する。
- ・選手個人袋に入れずにビーチに残された荷物は全て処分し、選手には返さない。

■リレーの招集

- ・リレーの招集は、4人が揃った状態で指定の時刻までに招集テントに集合すること。
- ・審判長からの最終ブリーフィング後、選手コールが始まったら、第1泳者は競技役員の指示に従いビーチ待機位置へ移動する。第2泳者以降の選手は控え場所等に戻り、待機すること。
- ・次の泳者は、前の泳者がスタートしたタイミングで再度、招集テントに集合し、競技役員の指示に従いビーチ待機位置へ移動する。
- ・ADカード、荷物の扱いについては個人種目と同様とする。

■スタート

- ・スタートラインは、水面に張られたロープにより示される。
- ・選手はスタートライン（ロープ）の前に位置し、後ろ手（片手）でロープを握り、フローティングで待機する。
- ・審判長のホイッスルの後、スターターのホーン（＝フラッグの振り下ろし）によりスタートする。

■ラップゲート

- ・給水栈橋付近にラップゲートを設置する。
- ・選手はスタート時を除き、周回毎に必ずラップゲート内を通過しなければならない。

■フィニッシュおよび途中退水

- ・フィニッシュゲートのタッチ板にタッチした時点でフィニッシュとする。（手のひらで確実にタッチすること）

- ・タッチ板にタッチしなかった場合は、フィニッシュと認められない。
 - ・フィニッシュした選手は必ずトランスポンダーを返却しなくてはならない。
 - ・レース途中でトランスポンダーを紛失しても左右どちらかに1個のトランスポンダーが装着されていればフィニッシュと認める。トランスポンダー2個紛失の場合はフィニッシュと認めない。
 - ・競技途中で退水（リタイア）をした場合は、必ず救護テントにて、医師の診察を受けること。
- また、ADカードを持った競技役員が来るまで救護テントで待機し、トランスポンダーと引き換えにADカードを受け取ること。

■リレーの引継ぎ方法

- ・リレー競技の引継ぎは、交代ゾーンにて行う。
- ・引継ぎは、交代ゾーンにて泳者と次の泳者のお互いの手のひらが水の上に見える状態でタッチをすることで次の泳者への引継ぎとする。（水中でのタッチや手のひら以外の部位へのタッチは引継ぎとして認めない。）
- ・次の泳者は、片手でロープを持っていること。

■表彰

男女それぞれ1位～8位入賞者に表彰状を授与する。

- ・1位～3位は、表彰式を行う。
- ・各競技終了後、大会本部にて各自で賞状を受け取る（ADカードを持参する事）。

■選手ナンバー

- ・選手ナンバーは、（公財）日本水泳連盟事務局にて機械式自動抽選を実施し、決定する。
- ・（公財）日本水泳連盟ホームページにて確認すること。

■荒天時の対応

- ・天候状況により、8月26日（土）～27日（日）2日間の大会期間の中で競技開始時間・コース・距離を変更して行う。
- ・競技実施の可否および競技方法の変更等については、8月26日（土）は朝8時30分、8月27日（日）は朝7時に決定し、（公財）日本水泳連盟ホームページ内OWSの「NEWS お知らせ」欄にて通知する。
- ・上記以前に開催が難しいと判断した場合も、同じく「NEWS お知らせ」欄にて通知する。

■緊急中止の対応

- ・緊急中止の際は、審判長から合図を送る。合図があったら、一番近くのブイまで泳ぐこと。その後はライフセーバーの指示に従うこと。
- ・緊急中止になった場合でも、退水時にドーピングコントロールデスクでトランスポンダーを返却し、ADカードを受け取ること。
- ・緊急中止となり、かつ再レースが不可な場合は、直前のラップゲートの順位を最終順位とする。

■その他

（1）OWS競技の水着

- ・（公財）日本水泳連盟「水泳競技会において着用又は携行することができる水泳用品、用具のロゴマーク等についての取扱規定」に準ずる。この基準はスイムキャップやゴーグルにも適用されるので、受付時に検査を受けること。

https://swim.or.jp/assets/files/pdf/pages/about/rule/r_k16_20230326.pdf

(2) 安全について

・(公財)日本水泳連盟 「OWS 競技に関する安全対策ガイドライン」 に則り実施する。

https://swim.or.jp/assets/files/pdf/pages/about/index/g_03.pdf

- ・(公財)日本ライフセービング協会から派遣されたライフセーバーが海上でガードする。
- ・棄権の場合は、大会本部に申し出ること。
- ・途中棄権の場合は、ライフセーバーに申し出てその指示に従うこと。
- ・緊急時には競技役員、係員の指示に従い避難すること。
- ・競技中、伴漕するライフセーバーに選手を先導する役割はない。なお、明らかなコースアウトと判断された場合には“善意の第三者”として方向修正等のアドバイスを行うことがある。

(3) 本大会は、上訴審判団を設置する。競技に対して抗議する場合は、事象発生後 30 分以内に大会本部の抗議書に必要事項を記入し、抗議申請料 50,000 円とともに大会本部に提出すること。抗議内容が認められた場合は、抗議申請料を返金する。

(4) 本大会は、JADAによるドーピング検査対象となる。

(5) 本大会中は、館山旅館の屋外シャワー（温水）を利用する事ができる。

(6) マッサージエリアは会場内の指定した場所で利用できる。

(7) 会場内での応援に対して特段の制限は行わないが、近隣住民に配慮する等、節度を保つこと。

(8) 部旗は、会場内に設置している本部テント前のフェンス及び控え場所テント裏のフェンスへの掲出を認める。但し、場内の設営状況により掲出できる場所を限定する場合がある。掲出する際、跡が残らないようにガムテープは使用しないこと。

以 上

連絡事項

その他資料は、整い次第、公開いたしますので、引き続きホームページを確認してください。